

大学等名：高知大学

テーマ：テーマV（卒業時における質保証の取組の強化）

本事業は、「地域協働による教育」の展開と、それによる学生の能力の育成を中心に、①教育改革に向けた教職員の意識改革、②多面的評価指標の開発、③地域と社会と協働した学生の成長の検証、の3本の柱で教育の質保証のための仕組みを構築し、「地域活性化の中核的拠点」のモデルとなることを目指す。

IRを用いた学長の強固なリーダーシップの下の3つの大きな取組

I. 教育改革に向けた意識改革
(対象：全教職員)

入口から出口までを見つめ
教職協働を強化する
授業公開週間/FD・SDウィークを開催

高大社接続の視点からの公開授業と授業協議会の実施
教学IRのデータを用いた質保証に関わる
全学と学部FDの強化（GPAの厳正化）

教員のファシリテーション力向上
アクティブ・ラーニング型授業の強化

「地域協働による教育」

地域に出向き地域の課題を解決する
取組のなかで、DP「統合・働きかけ」
を育成する。現実課題に向き合うこと
は、学生のキャリア形成にとって、
大変重要な役割を果たす。

II. 多面的評価指標を外部と共同開発
(対象：全学生)

DPに基づく多面的評価指標

ポリシーの分類	具体的な能力	評価方法	メタ・コンピテンシー (評価方法)
【知識・理解】	専門分野に関する知識	GPA	【統合・働きかけ】 本邦の能力を内的に統合し、 周囲の文化・社会・自然・人間 などに外的に働きかけていく能力
	人間的文化・社会・自然に関する知識		
【思考・判断】	論理的思考力	ルーブリック評価 (フィールドである 地域と協働して開発)	パフォーマンス評価 (若手社会人等を含む学外の 人材と協働して開発)
	課題解決力		
【技能・表現】	語学・情報に関するリテラシー	ルーブリック評価 (フィールドである 地域と協働して開発)	パフォーマンス評価 (若手社会人等を含む学外の 人材と協働して開発)
	表現力		
【関心・意欲・態度】	対人コミュニケーション力	ルーブリック評価 (フィールドである 地域と協働して開発)	パフォーマンス評価 (若手社会人等を含む学外の 人材と協働して開発)
	協働実践力		
	対自己 自律力		
	倫理観		

学修成果の可視化
ディプロマ・サプリメント
学生にわかりやすい成績を表示
学修ポートフォリオ



出口の課題を
徹底的に検証し分析

- 卒業生とその就職先等への調査と検証
- パフォーマンス評価指標の開発

III. 学生の成長を地域と社会と協働して検証する
(対象：全学生と卒業生)

学生支援型の形成的評価の設定

- 年度末の個別面談の実施
- 修学支援を必要とする学生の早期発見システム
- リフレクション・セメスターの設定
(キャリア形成に向けた支援強化)

【事業の成果】	27年度 (実績値)	28年度 (目標値)	29年度 (目標値)	31年度 (目標値)
学生の授業外学修時間(1週間当たり)	—	6時間	8時間	12時間
卒業生追跡調査の実施率(調査回答者数/卒業生数)	19.1% (一部の学部 のみで実施)	12%	15%	20%
質保証に関するFD・SDの参加率	57.7%	58%	60%	70%

・本事業は、これまで行ってきた「総合的教養教育」の深化と第3期中期目標に掲げている「地域協働による教育」を加速させるものである。ディプロマ・ポリシーに基づく多面的評価指標の開発により、学生が何を身に付けたかを可視化し、質保証を図っていく。
・本事業を実施することにより本学の教育の質が可視化され、教職員の意識改革が促進される契機となる。